

予算特別委員会



付託された案件は提案どおり
可決されました

5年度一般会計予算

一般会計の予算編成にあたっては、歳出面では、大川中央公園リニール事業等が完了するものの、大川の駅整備事業への本格的な着手により、普通建設事業費が増加し、歳入面では新型コロナウイルス感染症の影響等からの回復により、市税の増加が一定見込まれるものの、依然として厳しい財政状況が続くものと見込まれています。このため、財政の健全性の確保に留意しつつ、限られた財源の効率的かつ重点的な配分に努めた結果、一般会計の予算規模は178億3千万円となり、前年度当初予算との対比では、5・6パーセントの増です。

予算特別委員会の審査の過程では各款にわたり、多くの質疑、意見等が交わされました。

(主な質疑・意見等)

庁舎改修設計業務委託料について

問 庁舎改修設計業務の内容は。

答 空調設備関係やエレベーター設置などバリアフリーに係る改修の設計と併せて非常用電源の確保の実施設計を行います。エレベーター設置は他の工事と併せて、部屋の利用制限ができるだけ短期間で終わるよう工夫して工事を行います。

キャリアアップチャレンジ 応援補助金について

問 キャリアアップチャレンジ応援補助金の内容は。

答 市外在住で仕事をしている39歳までの方を想定し、大川市で起業や副業にチャレンジするにあたり支援を行うものです。市内に宿泊した場合に1泊あたり上限5千円を補助します。チャレンジする人を応援する姿勢を示すことで、本市のPRと、関係人口を増やし移住につなげていきます。

意見 支援にあたり不正が起きないように、きちんとした制度で行ってほしい。

高齢者安全運転支援事業 補助金について

問 高齢者安全運転支援事業の内容は。

答 4年度からの新規事業として高齢者の運転操作誤りによる事故を防止するために後付け安全運転支援装置を設置された方へ、2万円を上限に費用の2分の1の補助を行っていたものに、5年度からはシニアカーや電動三輪車の購入についても10万円を上限に費用の2分の1を補助対象に加えるものです。介護認定を受けている方は保険給付サービスの制度があるため、補助の対象外としています。

高齢者運転免許証自主返納等 助成金について

問 4年度の申請実績は。

答 運転免許証を自主的に返納された方が66名、運転免許証の期限切れで失効された方が24名、合わせて90名から申請がありました。

意見 大川市では70才以上の運転免許証自主返納者等を対象に、市からタクシー券1万円分を補助していること、また、県の補助で運転免許証を返納する際に発行され

るカード型の顔写真付き運転経歴証明書をタクシー会社に提示することでタクシー料金の10パーセントが割引になることを市報等で市民に周知いただきたい。

アピアランスケア推進事業 助成金について

問 がん患者に限定する理由は、また予算11万円は少なすぎでは。

答 本事業はまず県が取り組んでおり、本市でも5年度から県の事業にならって実施していきます。がん患者やがん経験者のがん治療に伴う外見の変化に助成すること、を想定しており、県内市町の申請状況、平均値を基に、医療用ウィッグについては2万円を上限に5名分、乳がん患者の補正用パッド等の補装具や下着類については1万円の1名分で計11万円を計上しています。

活力ある高収益型園芸産地 育成事業費補助金について

問 4年度より補助金額が減っている理由は。

答 県の単独事業であり、4年度とは事業要望実施主体や要望内容が異なるためです。

問 大川市独自の補助金はどれくらいあるか。

答 がんばる農業支援事業費補助金1千250万円、スマートアグリ推進事業費補助金70万円、大川市い業振興協議会補助金27万円、青年農業者活動支援事業費補助金20万円、地域就業支援体制構築促進事業費補助金5万円は、市単独で実施している補助金です。

要望 農業振興地域は県の補助事業があるが、用途地域内の農業者は厳しい状況にあるため、市の補助でできるだけ支援し、用途地域内の農業がスムーズにいくよう補助金を交付いただきたい。

大川看板商品開発・PR事業 補助金について

問 5年度の事業内容は。

答 4年度に開発したタレ付け唐揚げを看板商品として引き続きPRし、加えて、新商品の開発、SNSの運用、ウェブサイトの制作などによるプロモーションを考えていきます。

木造戸建て住宅性能向上改修 促進事業補助金について

問 木造戸建て住宅性能向上改修促進事業の補助内容は。

答 地震に強い安全で安心なまちづくり及び脱炭素社会の実現を目指すことを目的とし、従来の木造戸建て住宅耐震改修促進事業補助金に代わる新たな補助制度です。

対象は、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準の建物で、耐震改修と省エネ改修を併せて行う性能向上改修工事と耐震不足の建物を建て替えるための解体工事であり、そのうち省エネ改修では、主に、窓、ドア、外壁、床等の断熱性能を向上させる省エネ改修やエコキュート等の設置工事を補助の対象とします。性能向上改修工事は対象経費の25パーセント以内、上限60万円を補助し、解体工事では、建て替えに伴う解体と住み替えに伴う解体が補助対象となり、対象経費の23パーセント以内、上限30万円を市が補助します。

問 広報の方法について。

答 現在チラシ等を作成しており、6月には市報もしくはチラシ等で広報する計画です。

防災士資格取得助成金について

問 防災士資格取得の内容は。

高齢者安全運転支援事業 補助金について

問 高齢者安全運転支援事業の内容は。

答 4年度からの新規事業として高齢者の運転操作誤りによる事故を防止するために後付け安全運転支援装置を設置された方へ、2万円を上限に費用の2分の1の補助を行っていたものに、5年度からはシニアカーや電動三輪車の購入についても10万円を上限に費用の2分の1を補助対象に加えるものです。介護認定を受けている方は保険給付サービスの制度があるため、補助の対象外としています。

高齢者運転免許証自主返納等 助成金について

問 4年度の申請実績は。

答 運転免許証を自主的に返納された方が66名、運転免許証の期限切れで失効された方が24名、合わせて90名から申請がありました。

意見 大川市では70才以上の運転免許証自主返納者等を対象に、市からタクシー券1万円分を補助していること、また、県の補助で運転免許証を返納する際に発行され

答 4年度と同様に10名予定しています。利用条件は、自主防災組織で活動いただける方や消防団員です。

意見 区長会等を通じて助成制度の更なる周知を行い、しっかりとした防災活動等ができるよう資格取得の推進をお願いしたい。

要望 各地域防災組織に防災士が必ず1人いれば防災訓練が行いやすい。関係者に対し市から強くお願いいただきたい。

校種間連携推進事業費 補助金について

問 5年度は小学校から大学まで参加者を広げて音楽会という形で行う予定について、子供たちに質の高い音楽を体験させる意味で幅広く協力者を募り、できるだけ大きい資金で一流の方をゲストに呼べるような形でできないか。

答 できる限り協賛いただけたところを探して、より良いものとなるよう取り組んでいきます。

意見 校種間連携推進事業は、お兄さん、お姉さんたちが活躍する姿をしっかりと後輩たちに見せることも大事な目的として事業を行っていただきたい。